

『地域に密着した医療を目指して』



「すこやか健康教室・健康相談」 をぐ存じですか？

岩美病院には医師や看護師をはじめとして、いろいろな仕事をする職員がいます。そしてそれぞれに得意分野があります。病院をよく知っていただくため、職員が町内のいろいろな場所に出かけて行ってお話したり、相談にのったりするのがこの「すこやか健康教室・健康相談」です。今回は、講演を行った職員からのメッセージを紹介します。

「すこやか健康教室・健康相談」でお話をして

臨床心理士 広富 健一



私は主に認知症についての話をしています。いくつかのサロンや集まりに声をかけていただきまして、代表の方と事前には話をしますと、やはり

「予防」の話に関心をもたれる場合が多いです。ただ、予防の話をしようと思うと「認知症とはどんなものか」を知ってもらう必要があるのか、そのことも話します。それには認知症のことを理解してもらって、認知症を患ってしまった方にも暮らしやすい町になってほしいという思いもあります。

100人ぐらいの方を前に話をしたことをありますが、多くは20人程度の集まりです。小さい規模の方が、話をしたあとの時間に、いろいろな質問や感想が出てきやすいようです。話した後の反応が聞けるのは、聞いてもらった実感があり、話し手としてはとても嬉しいことです。「認知症に気づくための簡単なチェックリストはないか」、「このあたりをもう少し詳しく教えてほしい」などの質問をいただきました。みなさんの関心がどのあたりにあるのか知ることができ、次の話に活かすための材料とさせてもらっています。

集会場や公民館に向いていて、その土地の雰囲気や、住んでいる人の人柄を感じられたりするのを楽しみの一つです。普段練習してい



る踊りを披露していただいたり（そういう活動は予防にもいいです！）、数少ない扇風機を1台私専用に戻してもらったりと、とても有難かったり、感動させられたりします。

出向いて行って話をする仕事ですが、何だか私が元気をもらっているように感じます。ですからこれからいろいろな所と呼んでいただきたいと思っています。町民のみなさんも、病院をよくしていくことにもつながりますので、ぜひこれからも声をかけてみてください。

岩美病院運営協議会が開催されました

岩美病院の健全な経営を図るため、岩美病院運営協議会（構成 知識経験を有する者 3人 事業管理者が必要と認めた者 4人）を設置し、必要な事項を調査審議することになっています。本年度も9月4日に協議会が開催され、岩美病院の平成20年度の決算状況、平成21年度の病院の運営等についての協議が活発に行われました。今回いただいた貴重な意見を今後の病院運営に生かしていきます。

なお、委員は、船木勉さん、田村節子さん、鍵井廣幸さん、植田憲治さん、日下部武志さん、湊孝明さん、松本享子さんです。

